

# 令和3年度 学校評価まとめ（生徒・保護者・教職員の対比）

項目	番号	質問内容	肯定的意見					【表について】 ※斜線の項目については、アンケートを実施していない。 ※昨年度の％は、教職員・保護者・生徒の回答の平均値。 ※肯定的な意見が90%以上（◎）、90%未満80%以上（○）、80%未満70%以上（△）、50%以下（▼）
			生徒	保護者	教職員	平均	昨年度	
学校運営	1	学校はHPや学校・学年だより等で教育方針・内容、生徒たちの様子を知らせている		93%	96%	95%	98%	【学校経営を問うアンケートについて】 ◎「HPや学校・学年だより等で教育方針や生徒の様子を知らせている」、「社会ルールやマナーを身につけさせようとしている」に関してはおおむねできている ○「保護者や地域と連携した教育」については、コロナ禍のため活動が制限されていたため評価が低くなったと考えられる ○「適切な支援・相談」については、年間3回ある教育相談をさらに充実させるとともに、困っている生徒への積極的な声かけを推進していく
	2	学校は保護者や地域と連携した教育を行っている		78%	87%	83%	92%	
	3	学校は生徒についての指導や支援・相談を適切に行っている		85%	93%	89%	94%	
	4	学校は社会ルールやマナーを身につけさせようとしている		89%	96%	93%	92%	
学習指導	5	一人一人の生徒を大切に、生徒のニーズに応じた指導や支援・授業を行っている	87%	65%	100%	84%	87%	【学習・学習指導を問うアンケート】 ◎「伝統・文化についての教育」については、校外学習や宿泊学習ができたことが大変大きい ○「小集団を活用した授業」については、コロナ禍のためグループ学習等に制限がかかっていたことが一因と考えられる △「家庭学習の習慣」については、児童・教職員の評価に比べ生徒・保護者の評価が比較して低いことから、ODOP等で課題は出しているが実践が伴っていないことが伺える。家庭と連携をしながら、さらに家庭学習の定着を図っていきたい
	6	家庭学習の習慣が身につくように指導している（身につけている）	71%	56%	89%	72%	74%	
	7	伝統や文化についての学習を実施している		93%	93%	93%		
	8	小集団を有効に活用した授業を行っている（グループ学習は楽しく、学力がつくと思う）	90%	73%	96%	86%	92%	
学校生活	9	生徒は学校生活を楽しんでいる	90%	90%	100%	93%	91%	【生徒の学校生活を問うアンケート】 ◎「進んで挨拶」については、教職員・生徒の評価が高い割に保護者の評価が低いことから、地域や家庭での挨拶ができていないことがわかる。地域にも働きかけ、お互いに気持ちの良い挨拶を心がけることをPRしていきたい ○「悩みや相談に親身になって対応」については、項目3と同様の対応を推進していく
	10	生徒は進んで挨拶できる	90%	79%	100%	90%	88%	
	11	生徒は思いやりがあり、人に親切である	98%	82%	100%	93%	94%	
	12	生徒は積極的に清掃に取り組むことができる	93%		93%	93%	94%	
	13	生徒は積極的に歌声活動に取り組むことができる	92%	87%	80%	86%	89%	
	14	先生は生徒の悩みや相談へ親身に対応している	92%	70%	96%	86%	88%	
健康・安全	15	生徒は交通のルールやマナーを守っている	99%	82%	89%	90%	92%	【健康や安全についての意識を問うアンケート】 ○「交通のルールやマナーを守っている」「安全に注意をして学校生活を送っている」については、到達度確認テスト時のような一斉下校する機会を逃さず、全職員で校外安全指導を企画・実践し、安全に対する意識を高める
	16	生徒は安全に注意して学校生活を送っている	98%	76%		87%	92%	
その他	17	生徒は部活動に楽しく取り組んでいる	92%	86%	89%	89%	95%	【教員の授業力や適正な評価を問うアンケート】 ◎「コロナ禍での適切な教育活動」については、授業でのICTの積極的な活用や学級・学年閉鎖時のタブレット活用を積極的に行ったため、3者の評価が高くなったと考えられる ○「部活動に楽しく取り組んでいる」については、他校との練習試合や各種大会が中制限・中止となった期間が長かったため、生徒が目標を意識しづらく、充実した部活動ととらえることができなかったことが一因である ○「いじめのない学校づくり」については、教職員及び生徒の評価は比較的高いが保護者の評価が低いことから、来年度は保護者への連絡をさらに密にするとともに連携した問題解決を意識して取り組んでいく
	18	学校はいじめのない学校づくりに取り組んでいる	88%	66%	100%	85%	89%	
	19	学校はコロナ対応について社会の状況を考慮しながら適切に教育活動を行っている	91%	93%	93%	92%		

※ほとんどの項目で、80%後半以上の評価であった。来年度からの教育活動を行う上での励みにしたい。  
 ※今回のアンケートを通して一番の課題は、「家庭学習の充実」である。本校の特色ある教育活動であるODOP（ワンデイワンページ）は、当初家庭学習の習慣化を目的に始めたものであるが、一部形骸化していることも否めない。生徒一人一人の資質・能力に合わせたODOPの取組や課題設定が必要と感じる。「家庭学習の習慣化」から「必要感がある充実した家庭学習」への脱却が必要な時期と考える。そのためには、やはり家庭との連携が必要不可欠であるため、連絡を密にして家庭学習を充実させ、学力向上へとつなげたい。